

飯塚市中心商店街でのインターネット放送の活動について

瓜生 隆弘

Web broadcasting station in Iizuka-shopping arcade – Through the action called “Osyabery hosokyoku” –

Takahiro Uryu

Abstract

The purpose of this paper is to investigate the possibility of reactivation in shopping arcade (Iizuka Shoutengai) by web broadcasting station. In recent years, due to the price plummet of personal computers and audio-video equipments, student got a power to operate internet broadcasting stations. Uryu and Sakamoto laboratory in KJC of Kinki University have studied about reactivation in shopping arcade since 2007.

This research activity was supported by Iizuka research grant, 2008.

Keywords

Community making, Experience, Participation learning, Student

1. はじめに

近畿大学九州短期大学瓜生研究室と坂本研究室は、平成 19 年度から本学が設置されている飯塚市の中心商店街と共同で商店街活性化に資する取組みを開始した。平成 20 年度と 21 年度に飯塚市大学支援補助金が交付され、学生と商店街との協働によるまちづくり活動が本格化した。本稿では、平成 20 年度飯塚市大学支援補助金の助成を受けて実施した、学生によるインターネット放送局について報告する。

2. 背景と経緯

近年、全国の商店街は、郊外の大規模店出店や中心市街地の人口減少、地域住民と店主の高齢化、駐車場の不足といった厳しい状況に置かれている。¹

飯塚市中心商店街でも郊外の量販店や福岡市、北九州市、直方市などの隣接する地域との競合により、来街者の減少傾向が著しくなり、シャッターを下ろす店が多くなっていた。しかし



飯塚本町商店街のミニスタジオ
おしゃべり放送局（飯塚市本町 10 番 14 号）



学生がレポーター役で個店を紹介
家具のヨカヤ（飯塚本町商店街）

ながら「がんばる商店街 77 選」（経済産業省中小企業庁、18 年度）に選ばれるなど、魅力ある商店街の形成に向けて日々懸命な努力を続けている。² た例えば商店街ツアーの実施や該当での PR ビデオの上映、情報紙「飯まち探検隊」の発行、さらに飯塚の歴史と伝統を活用した観光によるまちづくりとの連携などである。

瓜生研究室と坂本研究室では、平成 19 年度から飯塚市中心商店街と連携したまちづくり活動に取り組み始め、商店街で開催される様々な催し物に積極的に参加して、商店街活性化に資する取組みの準備を行なった。

平成 18 年度に商店街等活性化に係る事例調査委員会が取りまとめた「商店街活性化に係る事例調査研究報告書」（中小企業庁委託事業）には、商店街が行なった各種取り組みのうち、地域の活性化に結びついた 17 の事例が紹介されている。³

その中のひとつに販促ツールとしてインターネットを活用した茨城県水戸市泉町二丁目商店街の例があった。若者向けにパソコン用ホームページと携帯サイト、高齢者向けにガイドブックを作成して商店街の個店情報を紹介し、個店の売り上げアップに結びつけた事例である。^{注1}

最近、パソコンや映像機材が比較的安価になり、高速のインターネットが急速に普及したことなどから、インターネットで動画を配信するサービスが登場しており、学生にも人気がある。また、大学生によるインターネット放送局が、すでに多くの芸術系学部や情報系、デザイン系の大学で誕生し活動している。^{注2}

早い時期からインターネット放送局に取り組み、広く知られているものに東京工科大学の「インテプロ」がある。平成 13 年 9 月に情報系の学生が大学のサーバー環境を利用してストリーミング配信によるインターネット放送局を立ち上げた。少し遅れて平成 15 年 4 月に慶応大学の学生が運営する「めでいたす慶応」がスタートした。両者とも企業による支援を受けてのスタートであった。東工大ではメディア学部でインテプロを利用してインターネット放送の技術を学ぶ科目も設定されている。⁴

企業の支援を受けて始まった東工大のインターネット放送局は、その後大学に支援されて授

業とも連動する大学公式インターネット放送局に成長した。大学生によるインターネット放送局の中でも最も活発な活動を展開している例であろう。⁵

大学と商店街が連携したインターネット放送局の例としては「三田通りインターネット放送局」がある。三田通り商店街が平成18年に港区から助成を受けたのがきっかけでスタートしたインターネット放送局である。三田通りインターネット放送局は、慶應義塾大学教養研究センターの学術フロンティア「インター・キャンパス構築」プログラムと東京都港区の三田商店街振興組合が共同し、教員、学生、商店街等からなる有志メンバーによって運営されており、三田界隈のイベントや商店の様子を主に伝える放送局である。「めでいすた慶応」は現在活動休止中だが、三田通りインターネット放送局は現在でも活動を続けている。

NPOによる商店街からの発信の例としては、福岡市早良区の「サッタモまちかど放送局」がある。⁶ サッタモまちかど放送局は、NPO法人イマジンがインターネット放送技術の普及を目的として、平成19年10月に開局した。福岡市早良区の情報を中心にインターネット放送による地域振興に取り組んでいる。ボランティア・パーソナリティの協力を得て、放送会員からの会費と広告収入で運営されている。

飯塚市中心商店街にも個店情報を発信するホームページがあったが、全く更新されず機能していなかった。多くの人に個店の魅力を伝え、また大学をはじめとした地域の教育機関との連携を深めて、学生や一般市民を巻き込んで商店街活性化に資する活動を推進するには情報発信力の強化が不可欠であると考えた。インターネット放送は、地域がダイレクトに広い地域と繋がることのできる最も有効な手段である。そこで飯塚市中心商店街に商店街の個店情報やイベント等を動画で紹介するインターネット放送局を設置・運営することにした。

3. 目的

ミニスタジオを拠点に商店街の魅力を広く伝えることで、商店街が本来持つ地域コミュニティの場としての機能を回復させ、賑わいを復活させること、そして学生と地域の商店、NPOなど多彩な人々と協力してまちづくりを検討する場を形成することを目的とした。

学生がレポーター役やカメラマンなどをつとめ、商店をレポートして、その魅力を動画で伝える。学生は商店主らとの会話を通じて大人とのコミュニケーションの仕方を実践的に学んだり、インターネット等の最新の技術を駆使した情報発信の仕組みを学んだりすることができる。

人間力が問われる現代、学生にとって人と環境、地域の生活と歴史・文化などを総合的に包含している中心商店街は極めて有効な学びの舞台となる。学生が地域と協働してまちづくりに係わることでもたらされる従来の教育を超えた意義や有効性も報告されている。⁷



雛の祭りをレポートした
(平成 21 年 2 月 19 日)



学生がレポーター役で個店を紹介
タイラ時計店（飯塚本町商店街）

4. 方法

飯塚市中心商店街の情報発信力の強化に向けて、インターネット放送局のミニスタジオを商店街の空き店舗（飯塚市本町 10 番 14 号、飯塚 GENKI 館）の一部を借りて開設、女子学生 2 名、男子学生 2 名の 4 名が「ピーチクパーチクおしゃべり放送局」と称して活動を開始した。

平成 20 年 4 月 16 日からスタジオ機材等の設営を始め、初取材は 6 月 4 日（水）に飯塚本町商店街の「めがねのサトー」店舗をビデオレポートした。平行して 4 月 7 日にホームページを開設、動画配信は無料サービス STICKAM を利用することとした。⁸

平成 21 年 3 月 16 日（月）までの 11 ヶ月間、店主や NPO 等、多方面の方々の協力を得て、月 1 回程度の活動を続けた。おもな内容は、学生レポーターによる個店の紹介や商店街ツアーへの同行取材、商店街で開催される各種イベントの紹介、NPO やボランティア団体の活動紹介である。^{注3}

5. 結果と考察

本研究で開設したホームページでは、現在も動画データを紹介している。動画データをサーバーに残してパソコンとインターネット環境があれば、いつでも再視聴可能な状態を保持している。商店街の各店舗を紹介した動画は平成 21 年 10 月までに 2,000 回以上視聴されたものもある。また本研究に興味を持った近畿大学産業理工学部や九州工業大学情報工学部、九州大学等の学生とも交流を深めることができた。

平成 20 年 8 月には毎日新聞（地域面）が「近大九州短大生 ネット放送局運営 商店街の魅力伝えたい」として取り上げ、翌年 3 月には「近大九州短大 空き店舗に放送局 女子学生がリポーター ネット TV でお買い得情報」（毎日新聞、社会面）として紹介された。平成 21 年 5 月には「学生や自治体、企業などが担い手のインターネット放送が九州・沖縄で広がっている」として日本経済新聞（社会面）にも取り上げられた。本研究は、飯塚市中心商店街の

情報発信力強化に向けて、インターネットを活用した放送局を商店街に開設し、運営するものであった。飯塚市や飯塚商工会議所、店主や地元のパソコンクラブ、卒業生、NPO等多方面の方々から協力を得て、約30件のビデオ取材を行なうことができた。また、平成21年2月17日と19日の両日には本町商店街と永楽町商店街からインターネット生中継を実施した。本研究内容は新聞や建築系学生のためのフリーペーパー「ルフタ」(2009年春号)に記事記載されるなど広く紹介された。

6. まとめ

本研究では有線LANを使用して取材活動を行なったが、来街者の多い時間帯やイベント開催時には配線が難しい場合があった。そこで今後の展開として無線LANを導入して機動性を高め、商店街でのさまざまなイベントを紹介できるように改善したい。また、本研究ではパソコン向けのホームページを開設したが、今後は若者向けの携帯サイトの開設と、高齢者向けのガイドブックやフリーペーパーなどを準備して、情報発信力を強化したい。配信する動画は個店情報と商店街でのイベント紹介が中心となったが、今後は地元企業のインタビューや飯塚市の歴史・文化を紹介するなど、幅を広げていくことを検討したい。また、ボランティア・パーソナリティを募るなど学生レポーターだけでなく、いろいろな方に参加して頂けるように活動を続けていきたい。

附記

本研究は平成20年度飯塚市大学支援補助金の助成を受けて実施しました。

注

- 1 中小企業庁「商店街活性化に係る事例調査研究報告書(簡易版)」平成18年度中小企業庁委託事業

全国商店街振興組合連合会の研究員が現地調査を行なって、商店街が行なっている各種の取組みが商店街や地域の活性化に結びついた事例を商店街等活性化に係る事例調査委員会に取りまとめたもので、以下の内容が紹介されている。

- 1 コミュニティ施設(山口市中市商店街・本町商店街)
- 2 子育て支援(徳島市籠屋町商店街)
- 3 高齢者支援(富山市大山町中央商店街)
- 4 新規開業支援・店舗誘致(佐賀市唐人町商店街)
- 5 個店の活性化(伊賀市伊賀上野地区中心商店街)
- 6 地域・商店街ブランド(萩市田町商店街)
- 7 特産品・歴史・伝統など(前橋市弁天通り商店街)
- 8 コミュニティビジネス(舞鶴市八島商店街)
- 9 エコロジー活動(茅ヶ崎市商店街)

- 10 環境・景観整備（滋賀県多賀市門前町商店街）
- 11 防犯（世田谷区明大前商店街）
- 12 商店街内の組織強化（上越市上越本町三・四・五丁目商店街）
- 13 教育機関・NPO 等他団体との連携（名古屋市北区柳原商店街）
- 14 地域住民等との連携（十和田市中央商店街）
- 15 集客イベント（高知市おびさんロード商店街）
- 16 販促ツール・インターネット活用（水戸市泉町二丁目商店街）
- 17 各種カード事業（神戸市長田神社前商店街）

2 インターネット放送局とは、インターネットに接続して映像番組を配信・視聴するものでネットテレビ、インターネットテレビと呼ばれることもある。提供されるコンテンツは既存のテレビ放送と同様なものも見受けられるが、地域に密着した情報を主に扱うコミュニティ放送が主流である。

3 本研究で提供した動画コンテンツの1日当たり視聴回数順のデータ
(上位 30 タイトル、平成 21 年 10 月 18 日作成)

番号	動画コンテンツのタイトル	再生時間	視聴回数	配信日	経過日数	視聴回数 / 日
1	本町商店街 NPO まちかどワークショップ	4分39秒	1617	2009 / 4 / 23	178	9.1
2	本町商店街 まちかどワークショップ	4分57秒	1043	2009 / 4 / 23	178	5.9
3	本町商店街 ひなまつり絵画展表彰式	13分37秒	1175	2009 / 3 / 15	217	5.4
4	吉原町商店街 商店街ツアー	11分22秒	2152	2008 / 6 / 1	504	4.3
5	飯塚宿まちあるき 観光案内人の会	54分6秒	2136	2008 / 6 / 1	504	4.2
6	本町商店街 商店街ツアー	10分55秒	1676	2008 / 9 / 1	412	4.1
7	本町商店街 雛まつり行列	9分53秒	966	2009 / 2 / 8	252	3.8
8	本町商店街 たべりーオープン	4分50秒	1576	2008 / 7 / 5	470	3.4
9	本町商店街 夜市ステージ(こども編)	3分11秒	1246	2008 / 7 / 27	448	2.8
10	本町商店街 夜市ステージ(ヒップホップ編)	4分32秒	1217	2008 / 7 / 27	448	2.7
11	本町商店街 たこ吉	2分31秒	568	2009 / 2 / 19	241	2.4
12	本町商店街 宮部書店	3分53秒	568	2009 / 2 / 18	242	2.3

13	本町商店街 おたっしゅクラブ	4分12秒	567	2009 / 2 / 18	242	2.3
14	本町商店街 フチガミ花店	7分48秒	563	2009 / 2 / 18	242	2.3
15	本町商店街 縄田履物店	3分25秒	990	2008 / 2 / 19	486	2.0
16	本町商店街 帽子のほりかわ	3分16秒	435	2009 / 2 / 18	242	1.8
17	本町商店街 わだ惣	4分25秒	426	2009 / 2 / 20	240	1.8
18	本町商店街 タイラ時計店	2分3秒	426	2009 / 2 / 18	242	1.8
19	本町商店街 スミレ洋装店	3分11秒	813	2008 / 7 / 10	465	1.7
20	本町商店街 夜市 白象が歩く	49秒	779	2008 / 7 / 27	448	1.7
21	本町商店街 はたや楽器店	3分15秒	420	2009 / 2 / 18	242	1.7
22	本町商店街 めがねのサトー	8分13秒	847	2008 / 6 / 12	493	1.7
23	本町商店街 ヨカヤ家具店	2分21秒	412	2009 / 2 / 19	241	1.7
24	本町商店街 夜市	3分16秒	761	2008 / 7 / 27	448	1.7
25	本町商店街 夜市ステージ(1)	2分56秒	760	2008 / 7 / 27	448	1.7
26	本町商店街 夜市ステージ(2)	51分37秒	730	2008 / 8 / 7	437	1.7
27	本町商店街 ライオン堂	3分10秒	350	2009 / 3 / 18	214	1.6
28	大学生の商店街ツアー	9分52秒	770	2008 / 7 / 1	474	1.6
29	本町商店街 飯塚井筒屋	4分56秒	389	2009 / 2 / 20	240	1.6
30	本町商店街 さげもん展示会	3分53秒	386	2009 / 2 / 20	240	1.6

<参考文献、参考 URL 等>

- 1 大熊省三「中心市街地（商店街）活性化事業における実証分析—活性化推進組織の形成プロセスの考察—」（横浜国立大学技術マネジメント研究学会）『技術マネジメント研究7』 pp.15-36 2008年3月
- 2 中小企業庁「がんばる商店街77選」平成18年5月
(http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/shoutengai77sen/idea/8kyuushuu/2_kyuushuu_25.html) 2009年10月17日
- 3 中小企業庁「商店街活性化に係る事例調査研究報告書（簡易版）」平成19年
(http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/2007/download/070702jireikenkyu_kani.pdf) 2009年10月17日
- 4 日本インターネット新聞株式会社「学生によるインターネット放送局の動向」
2007/02/09
(<http://www.news.janjan.jp/column/0702/0701180365/1.php>) 2009年10月15日
- 5 東京工科大学公式インターネット放送局 intebro
(<http://www.teu.ac.jp/intebro/about.html>) 2009年10月15日
- 6 サッタモまちかど放送局
(<http://www.sattamo.jp/home/>) 2009年10月16日
- 7 倉原宗孝「子どもたちの体験的・持続的まちづくり活動の意義と評価—札幌市手稲区における「こどもまちかど解決隊」の5年間の活動を通して—」『日本建築学会技術報告集』第12号,199-204,2001年1月
- 8 STICKAM ステイックカム（株）E-Times Technologies、2004年4月設立。ビデオコミュニケーションシステムを活用したソリューションの企画、提案およびコンサルティングが主な業務である。